

沖縄平和行進に参加して！

青年部副部長 岡田 大

5月11日(木)から15日(月)第40回沖縄平和行進に参加させて頂きました。沖縄につくと直ぐに全港湾の仲間と合流し県内外から700人が結集した県立武道館での「5.15平和行進結団式」に参加しました。その中での沖縄平和運動センター山城博治議長の言葉で、安倍内閣のやり方、憲法改悪、共謀罪、辺野古移設反対に対する発言に明日からの行進に向け気合いがはいりました。その後、ホテルに戻り全港湾、全国一般、全日建連帯での三単産結団式に参加し、歴史の話では20万人もの犠牲者を出した沖縄戦から72年その爪痕はひどく不発弾の後処理、新たに造られたり広げられたりしている米軍専用地など、まだ戦争は終わっていないのだとさえ感じました。その後、行われた沖縄の琉球踊りや歌では未来の子供たちに平和な沖縄を願う思いがひしひしと伝わってきました。ただ、少し心残りだったのは関東、東北、日本海地本に比べ関西の参加者が少なかったのが残念でした。

行進初日は、約19キロの道のりを全港湾が先頭で歩きました。戦争の激戦区でいまだに不発弾が残っている可能性が高いので、地下深く杭が打てないために高い建物が建てられないなど戦争の影響が残っていました。

2日目は、大雨の中の行進でした。この日はレンジャーをやらせて貰い悪天候の煽りで苦しい時もありましたが地域の人に手を振られ頑張る事ができました。カミナリが激しくなり事故に繋がる恐れがある為、この日は昼で中止になりました。夜は沖縄地本でバーベキューをして貰い全国の仲間との交流が深まりました。

3日目は、大浦湾の瀬嵩海岸で「平和と暮らしを守る県民大会」が開催され2200人が参加しました。日曜日と言う事もあり関西の地域労組の仲間も参加していました。しかし、沖縄の県民の参加が少なく思えた背景には民意とは裏腹にまだまだ、表で本音を言えない悲しい現実があるのではあろうと感じました。その後、「瀬嵩海岸」から「わんさか大浦パーク」までの2キロを声高々歩きました。行進が終わりバスガイドさんの案内で激戦の様子が残る嘉数高台公園に行き止くなった方、名前がわからない方へ黙祷しました。また、「オリオンビールの星」「かりゆし」の意味なども教えてもらいました。

最終日は、大阪支部の活動でキャンプシュワブゲート前での座りこみ、辺野古の海上行動に参加しました。ゲート前でのトラック搬入阻止行動での警官隊との攻防は凄まじかったです。搬入する沖縄ナンバーのトラック、基地を守

る警官、基地を反対する人達、同じ県民同士が対立する事に涙する警官もいたみたいで胸が熱くなりました。

最後に、初めて沖縄にきて自分の目で見て、自分の足で歩き、しっかりと一人一人が沖縄、米軍基地、戦争、今の日本を考え行動に移し、県内外に問わずしっかりと活動するべきだと思い改めて参加できたことに感謝いたします。

「ありがとうございました！！」